

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度: 令和6年度】

資料1-6

※1~5: 所管課記入、6: 指定管理者記入、7~8: 指定管理者、所管課及び指定管理者評価委員会記入

所管課	産業振興部 商工観光課
指定管理者	釜石まちづくり株式会社

1 施設名等

施設名	釜石情報交流センター
住所	釜石市大町1-1-10
電話番号	0193-22-3607
ホームページ	https://en-trance.jp/ikc

2 施設の概要

設置年月	平成27年12月	根拠条例等	釜石情報交流センター条例及び施行規則
設置目的	釜石情報交流センターは、東部地区新商業拠点区域(FP1)の核施設として、市民の交流と活動及び情報発信の拠点として、地域の人・モノ・出来事に係る情報を収集し、効果的に発信するプラットフォームになることを目的として整備。		
施設内容	ミッフィーカフェかまいし、交流ラウンジ1階、釜石PIT(多目的集会室)、大型車駐車場スペース 市民スタジオ、スタディオコーナー、ワークスペース、会議室1、会議室2		
利用料金	別紙参照		
営業日等	休館日: 毎月第3木曜日、年末年始(ミッフィーカフェかまいしの休館日は一部異なる)		
営業時間	午前9時から午後9時まで		

3 指定管理者

指定管理者名	釜石まちづくり株式会社
選定方法	公募(応募者数) <input type="checkbox"/> 非公募(随意指定) <input checked="" type="checkbox"/>
指定期間	令和5年4月1日から令和8年3月31日まで

4 指定管理料(決算ベース)

令和5年度(B)	令和6年度(B)	差 (B) - (A)
17,500 千円	17,500 千円	0 千円

5 指定管理者が行う業務

釜石情報交流センターの管理運営

6 利用実績等

(1) 利用実績

(単位: 人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	1,789	2,710	2,107	2,868	3,542	2,531	2,690	2,938	1,491	1,523	2,061	2,165	28,415
令和6年度(B)	1,700	2,108	1,615	2,375	2,595	2,495	3,050	2,823	1,743	1,715	2,187	1,848	26,254
増減数(B) - (A)	-89	-602	-492	-493	-947	-36	360	-115	252	192	126	-317	-2,161
主な増減要因等	貸館の利用回数・利用時間は昨年度とほぼ同様であったが、繁忙期であるお盆に台風5号の影響により当館が臨時休館となったため、カフェ利用を含め8月の利用人数が大きく減少したと考えられる。												

(2) 利用料金収入

(単位: 円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	172,700	244,450	299,310	418,050	236,620	354,860	385,600	369,500	224,600	216,200	262,000	275,950	3,459,840
令和6年度(B)	184,900	200,000	156,250	274,900	221,610	309,050	499,100	359,700	283,700	212,350	281,800	306,530	3,289,890
増減数(B) - (A)	12,200	-44,450	-143,060	-143,150	-15,010	-45,810	113,500	-9,800	59,100	-3,850	19,800	30,580	-169,950
主な増減要因等	会議室・ワークスペース・市民スタジオは前年と比較し微増であった。一方で多目的集会室(釜石PIT)は前年と比較すると微減であった。結果として月ごとに変動はあるものの一年を通して安定しており、当初計画を上回る数値で推移した。												

(3) 利用料金の見直し状況(対前年度比)

見直しの有無	無
(有の場合)見直し内容	

(4) 営業日・時間の見直し状況(対前年度比)

総営業日数	令和5年度 : 348日 令和6年度 : 347日	※8月11日(日)は台風のため17時閉館 ※8月12日(月・祝)は台風のため休館 ※8月15日、12月29日、1月4日、1月5日はカフェのみ営業
総営業時間	令和5年度 : 4,176時間 令和6年度 : 4,140時間	
見直しの有無	無	
(有の場合)見直し内容		

(5) サービス向上のため実施した内容

スタッフによる定期的な換気や消毒作業を引き続き実施。利用者様へも協力と理解を得ながら、安心できる施設利用を徹底した。また、今期も受験生応援プロジェクトとして12月～3月の期間において、ワークスペースを受験生に無料開放を行った。新たにラウンジに県内のプロスポーツの情報発信のコーナーを設け、運動したイベントを実施するなど、コミュニティの拠点として新たな層に向け訴求力も高

(6) 利用者の主な声とその対応状況

・外気温が30度になっており、2階のフリースペースが暑く汗だくになった。
 対応状況：11時、15時、19時の定時見回りの他、暑い日寒い日にはこまめに施設を見回るように改善した。
 ・職員さんの明るく丁寧な対応がこちらの施設の利用のしやすさだと思います。

7 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じて加除修正してください。

評価項目	指定管理者	評価	所管課	評価	指定管理者評価委員会最終評価
施設の目標に沿った管理運営	年間の来場者の目標には届かなかったものの、カフェの営業時間等が短縮となる中でも、施設利用率は増加している。利用傾向の変化にも臨機応変に対応した。引き続き安心して利用してもらえる管理運営を行っている。	B	来場者数の年間目標5万人に対し2.6万人の実績であり、昨年度の年間実績と比較しても減少しているものの、市民ニーズを捉えたイベントの開催等により、積極的に施設利用の機会を創出しており、施設利用率は増加している。今後も市民活動拠点としての施設運営が期待できる。	B	B
平等な利用の確保	6か月前からの予約対応を実施。目的に応じた施設利用及び料金説明等を丁寧にやっている。ラウンジやフリースペースを中心に館内が誰でも気軽に利用できる状態を提供している。	A	施設の予約・利用に関して円滑に行われており、混乱を招くことなく適切に管理されている。	B	B
利用者サービス向上の取組み	利用者が快適に利用できるよう、施設利用や貸出品に関する事前説明を丁寧にっており、利用者から高い評価を頂いている。	A	利用案内が円滑に行われており、アンケート結果でも利用者からの満足度も高い。今後も継続して利用者サービスの向上に取り組んでいきたい。	A	A
提案・自主事業の実施	提案事業6件・自主事業1件を実施した。県内のスポーツチームと連携し、パブリックビューイングを開催するなど、市内外からの参加者が賑わった。また、市民ホール等のイベントと並行して開催し、相互効果を生み出すことができた。参加者からも概ね好評であった。	A	スポーツ関連の事業などを積極的に実施し、市民のみならず、市外からの交流人口の獲得に向けた取り組みも行うなど、市街地中心部で賑わいを創出する工夫が見られる。今後も市民ホールと連携するなどし、イベント収入を確保し、自主事業の充実につなげていきたい。	B	B
職員・管理体制	昼間は3名以上、夜間(18時以降)は2名以上で施設の管理体制を執っており、防犯面・利用面において円滑な運営を行っている。	B	限られた人員の中で大きなトラブルもなく、施設の利便性を損なわず効率的に施設の管理が行われており、適切な体制を構築できている。	B	B
収支状況	物価高騰の影響などで懸念される支出の増加に対応するため、清掃内容の調整や設備点検業務の一部をスタッフが担うなど、収支改善に向けた取組を引き続き実施した。施設利用料収入は前年より減少したものの、予測を上回り、収支はプラスで着地する事が出来た。	A	物価高騰やエネルギー価格高騰の影響から大幅な支出増加による収支悪化が想定されたが、業務の見直し等の企業努力により健全な収支が維持出来ている。今後も、支出削減と収入確保に向けた取組を継続していきたい。	A	A
今年度(令和6年度)の取組み	当初想定より収支が順調に推移していた事から、提案事業の実施回数を増やし賑わい創出に向けた取組を積極的に行った。	A	積極的に提案事業を実施し賑わい創出に取り組んでおり、今後も引き続き市民の交流と活動の拠点として、幅広い年代層のニーズに合わせたイベント等を企画していきたい。	A	A
総合評価	施設の貸館利用におけるスタッフ対応は利用者から好評を得ている。また事業においても当初計画を上回るイベントを企画・実施した。収支状況も良好であり、適切な管理運営が行えた。	A	市の人口が減少している中で、来場者数及び施設利用料収入は減少しているものの、交流人口の増進が期待できるイベント等の企画・開催など創意工夫し、にぎわいを創出している。このことから、施設管理者として十分な管理運営ができていたものと判断できる。	A	A

(評価分類) A：仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 B：おおむね仕様書等の内容とおりの成果があり、適切な管理運営が行われている。
 C：仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 D：仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

8 効果と課題

項目	指定管理者	所管課	指定管理者評価委員会
制度の効果	利用者の細かい要望に対して職員が迅速かつ柔軟に対応することができおり、利用者から高い評価を頂いている。収支についても、諸物価高騰に対し適宜適切な判断でマネジメントをし、健全な収支運営ができています。	利用者ニーズが多様化する中、長年に渡り利用者から高評価を得ている。また、物価高騰やエネルギー価格高騰など厳しい運営環境のなか、効率的な施設の管理運営ができており、指定管理者制度の導入によって期待する効果は得られている。	適正に運営されている。 ・様々な世代、趣味にアプローチするイベントを行うなど工夫されている。 ・市民が安心して使える施設。 ・小さなイベントは足を運ぶきっかけになり良い。 ・市民にとって大切な場所として利用されていると感じる。
施設の管理運営の課題	物価高騰の影響に伴う収支のバランスには引き続き注視が必要。人件費は社会の賃金水準の変動と比べ対応できておらず、実質賃金がマイナスの状況が続いている。人材確保の観点からも適切な賃金スライドを当指定管理料にも反映して頂く必要がある。令和7年9月以降はミッフィーカフェの営業が終了する。営業が再開するまでの期間は利用料収入の減少が確実なため、収支の健全維持に更なる努力が必要。経年に伴う修繕費については、躯体(建物)のほか施設運営に欠かせない備品(高額な機材等)への対応も必要となってくるが、利用者サービスへの影響と費用バランスを鑑みつつ、適正な修繕または、場合によっては提供サービスの見直しを含め検討する必要がある。	市の人口減少が進むなか、施設への来場者数も減少している。引き続き、市民活動の拠点及び市内中心部のにぎわいを創出を目的として、幅広い年代層のニーズに合わせた事業の展開や、交流人口の増進に向け取り組みが必要がある。稼働から10年が経過し、今後数年のうちに中規模以上の修繕が必要となる事態が想定される。限られた予算の中で施設の機能維持並びに修繕を行っていく必要があり、修繕が必要な箇所を精査し、長期的な修繕計画の策定及び実施により施設の長寿命化を図っていただきたい。	・ホテル施設の利用が限られてきている中、本施設の役割は重要。 ・今後も多様化するニーズに丁寧に対応していきたい。 ・乗客数目的のコラボより、ニーズに合わせたイベントの企画への工夫をお願いしたい。(福祉まつり+100円市) ・来客数確保のため、交流の場の面積を増やし、販促品は観光コーナーを設けるなど整頓が必要と思われる。 ・人口減少の中で利用者確保に向けて、適正な目標数値とするための施策が必要。(リピーターを増やすのか、イベントを増やすのか、交流・観光・ワーケーションなどに注力するのか) ・ミッフィーカフェ事業者は、世界中のブルーナフアの想いと釜石がつながる場所という使命をしっかりと理解してほしい。